

発行 平成27年1月1日

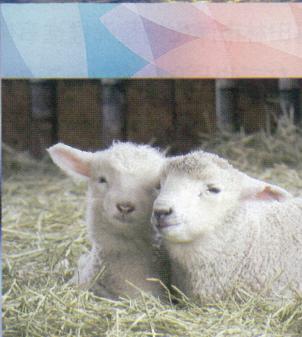
2015-1

NO.94

# 淨化槽あいち



愛知県の花 かきつばた



一般社団法人 愛知県浄化槽協会

【 表紙の題字は、桑原幹根元愛知県知事の書 】

**1. 新春のご挨拶**

3	一般社団法人 愛知県浄化槽協会 会長 加藤 錠吉
4	愛知県知事 大村 秀章
5	名古屋市長 河村 たかし
6	豊田市長 太田 稔彦
7	愛知県建設部 建築局長 祖父江 隆弘
8	愛知県環境部長 杉浦 健二
9	愛知県衛生事業協同組合 理事長 永田 喜裕
10	愛知県浄化槽保全協会 理事長 栗田 道秋

**2. ご挨拶 & 協会会議等こよみ**

11	新年のご挨拶 協会会議等のことよみ
----	----------------------

**3. 行政情報**

12	平成 27 年度浄化槽関連予算概算要求の概要
14	平成 27 年度浄化槽情報基盤強化推進事業費要求
16	愛知県内新設住宅着工統計
17	平成 25 年度末 浄化槽設置基数一覧表
18	平成 25 年度 浄化槽新設基数一覧表

**4. 協会だより**

19	第 66 回愛知県表彰式 表彰・新入会員のご紹介
20	「製造販売部会・施工部会等合同研修会」開催
22	「浄化槽技術研修会」開催
	「大阪府富田林市浄化槽整備推進事業視察研修会」開催
23	「あいち・なごや ESD 交流フェスタ」に、出展

# 新春のご挨拶

一般社団法人 愛知県浄化槽協会

会長 加藤 錦吉



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当協会は一般社団法人として認可をいただき 1 年が経過致しました。さらに、昨年は協会創立 40 周年の記念すべき節目を迎えることができました。これもひとえに関係行政機関をはじめ、関係諸団体様、そして会員各位の皆様方のご指導、ご支援の賜物であり、あらためて厚く御礼申し上げます。また、記念事業の一環として愛知県へ環境機器、環境に関する図書・DVD 等を寄贈しました。さらに、合併処理への転換促進や法定検査受検率の向上のため、新聞チラシ、電車内広告、主要駅でのキャンペーンを実施するなど、その普及啓発に努めてまいりました。

今や浄化槽は、下水道と同等の処理性能を有する施設として高く評価され、恒久的な生活排水処理施設として全国的に整備・普及が図られているところであります。反面、浄化槽を取り巻く課題には、既設単独から合併処理浄化槽への転換促進、市町村整備推進事業の推進、法定検査率の向上の面におきまして、遅々として進まない実態があります。今後の、人口減少、少子高齢化を考えると、経済性・効率性に優れた浄化槽の果たす役割が益々大きくなるものと考えられます。昨年初めに、国交省、環境省、農水省の 3 省統一の「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」が公表されました。併せて各都道府県に対して、今後 10 年程度で各種汚水処理整備を概成するよう、時間軸を盛り込んだ都道府県構想の見直し要請が通知されたところであります、その一翼を担う浄化槽の役割には益々大きな期待と責任がかかってまいります。

浄化槽は、法定検査、保守点検及び清掃が一体となった維持管理が適正に行われて初めてその機能が十分に發揮できるものであり、環境や自然に優しいものとなります。

本年も、県民の信頼に応え、県民から愛される協会として、浄化槽の整備区域の拡大、合併処理への転換促進、適正な維持管理の実施などにお一層の努力をしてまいる所存であります。関係各位の倍旧のご支援をお願いするとともに、皆様方の益々のご活躍・ご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成 27 年元旦

# 新春を迎えて

愛知県知事  
大村 秀章



あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様方にとりまして、素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、3月に「あいちビジョン2020」を策定し、リニア新時代を見据えた大都市圏づくりに向け、社会基盤の整備や産業振興、教育・人づくりなどに全力を注いでまいりました。また、「ESDユネスコ世界会議」、「技能五輪・アビリンピックあいち大会2014」の開催などを通じ、全国、世界に向け、愛知を大いに発信することができました。

今年も、ビジョンの着実な推進を図りながら、愛知の更なる飛躍を目指してまいります。

まず、世界に発信する「中京大都市圏」づくりです。2027年度のリニア開業による5千万人の大交流圏の実現をにらみ、名古屋駅のスーパーターミナル化や鉄道・高速道ネットワーク、空港、港湾の強化を図ってまいります。

また、燃料電池自動車を中心とする自動車産業の高度化、航空宇宙産業やロボット、健康長寿など次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援などに力を入れ、産業競争力をより一層高めていくとともに、農林水産業のパワーアップを図り、「産業首都あいち」の実現を目指してまいります。

そして、こうした愛知を支える「人づくり」に全力で取り組み、子ども、若者、女性、高齢者、障害のある人など、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。

さらに、国内外を代表するスポーツ大会の育成・招致に取り組むとともに、今年を「あいち観光元年」と位置づけ、愛知の魅力を高め、積極的に発信してまいります。

こうした取組のほか、戦略的なグローバル展開、地震・津波対策などの安全・安心な地域づくり、「環境首都あいち」に向けた取組、地方分権・行財政改革、東三河県庁を核とした地域振興などにも力を注ぎ、愛知の総合力を一段と高めてまいります。

さて、今年は、2005年の愛知万博から10周年です。秋には、愛・地球博記念公園をメイン会場に、「全国都市緑化あいちフェア」を開催します。花と緑にあふれた愛知の魅力を感じていただけるようしっかりと取り組み、万博の成果を継承・発信してまいりたいと思います。

これらの取組を通じ、「日本一元気な愛知」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成27年元旦

# 日本一ひとが育つまちナゴヤ

名古屋市長  
河村 たかし



あけましておめでとうございます。一般社団法人愛知県浄化槽協会の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東京と名古屋を約40分でつなぐリニア中央新幹線の工事実施計画が昨年認可され、総事業費5兆円と言われる巨大プロジェクトがいよいよ動き出しています。これにより、名古屋に対する注目は今後更に高まると考えられ、まさに空前のチャンスであると捉えています。

一方で、東京と約40分でつながることにより、仕事やレジャーは東京へ出て行き、名古屋は住むだけの場所になりはしないかという懸念があり、これを払拭するためには、市民の皆様が全国へ胸を張って自慢できる強烈な都市魅力が必要だと考えています。名古屋人の心の拠りどころである名古屋城や、多様な古墳の特徴を見ることができる志段味古墳群、日本一の巨大国際展示場構想など、旧来の魅力・新たな魅力を併せて発信し、将来「東京都名古屋区」などと揶揄されることのないよう、「世界に冠たるナゴヤ」を目指したいと考えています。

また、私も齢66歳となり、より良い社会を引き継いでいくために、将来を担う若者や子ども達に対する施策が極めて重要だと考えています。昨年4月からは、カウンセラーなど常勤の専門職が、教員とともに学校現場における問題の未然防止や個別支援をおこなう日本で初めての取り組み「なごや子ども応援委員会」を始めました。日々手探り状態ではありますが、確実に手ごたえを感じ始めているところです。待機児童対策では、保育所等の拡充により、計算上ながら昨年4月1日時点の待機児童数ゼロを達成しましたが、これはあくまで通過点であり、今後も更に取り組みを進めてまいります。

まちが今後も輝き続けるためには、人が健やかに、立派に育ち、活躍できる環境を備えていることが不可欠です。「日本一ひとが育つまち」を目指して施策を推進してまいりたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

平成27年元旦

# 新年のごあいさつ

豊田市長

太田 稔彦



さわやかな平成27年の新春を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げます。

合併から10周年という節目の年を迎えた現在、地域で力強く活動する市民の皆様と共に「新☆豊田市誕生10周年プロジェクト」を展開しております。その中でも、とりわけ中学生や高校生、大学生たち若者の活動をする機会が多く、本市が持つ地域力・市民力を改めて実感するとともに、活躍する若者たちの輝く姿は本市の「ミライ」の大きな希望であると頼もしく感じております。

本市は、「人が輝き 環境にやさしく 躍進するまち・とよた」を将来都市像に掲げ、都市と農山村の共生により多様なライフスタイルを創出する「暮らし満足都市」の創造や、低炭素な暮らしと活発な環境産業の展開を目指す「環境先進都市」の加速、本市の特性を活かした「ものづくり中枢都市」の進化など、将来を見据え、本市の強みを戦略的に伸ばす取組に引き続きまい進してまいります。

今年1月には、「持続可能な都市に関するハイレベルシンポジウム」を国連と共に催し、低炭素型社会実現に向けた本市の取組で世界の課題解決へ貢献するとともに、豊田スタジアムなどで開催されるスポーツイベントなどを活かした都市の国際化にも取り組んでまいります。

また、昨年は御嶽山噴火、集中豪雨による激甚災害など、自然の猛威を実感させられました。風水害や発生が懸念される巨大地震への備えなど、市民の生命財産を守るための安全・安心の取組は、市民の皆様と共に着実に進めてまいります。

今後も本市の行政力向上に努め、課題や環境の変化に迅速に対応できるまちづくりに一層取り組んでまいります。

年頭にあたり、一般社団法人愛知県浄化槽協会の皆様には、市政に対し引き続きご支援、ご協力を賜りますとともに、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心り祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

# 新年のご挨拶

愛知県建設部

建築局長 祖父江 隆弘



あけましておめでとうございます。

愛知県浄化槽協会におかれましては、長年にわたり、浄化槽の適正な施工や技術の向上に努められ、県民生活環境の向上に大きく貢献されてこられました。深く敬意を表します。

また、日頃から本県の建築・住宅行政の推進にあたり、格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、本県は、来るべきリニア時代を見据えた大都市圏づくりに向け、中長期的な観点から愛知の進むべき方向性を明らかにするため、昨年3月に「あいちビジョン 2020」を策定しまして、社会基盤の整備や産業振興、教育・人づくりなどに取り組んでおります。

私ども建築部局としましては、このビジョンの中の「災害から県民の生命・財産を守る強靭な県土づくり」を目指して、南海トラフの巨大地震等に対する大規模災害に備え、住宅や学校施設の耐震化を促進するとともに、不特定多数の者が利用する大規模建築物、防災拠点となる建築物等の耐震化に取り組んでいるところです。

また、「持続可能な集約型のまちづくり」に向け、環境負荷の低減を図るとともに、良質な住宅ストックを将来世代に継承していくことが必要です。そのため、長期にわたり良好な状態で使用することができる長期優良住宅の普及を促進し、県民の多様なニーズに応じた良質な住まいの提供を図り、より豊かでやさしい暮らしの実現を目指してまいります。

これらの建築・住宅行政を円滑に進めていくためには、貴協会並びに会員の皆様方と県が一体となって取り組んでいくことが必要です。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

# 新年の御挨拶

愛知県環境部長

杉浦 健二



皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より本県の環境行政の推進に御協力をいただき、深く感謝いたします。本県では、昨年11月に、愛知・名古屋において、「持続可能な開発のための教育（E S D）に関するユネスコ世界会議」が開催され、成功裏に終わることができました。貴協会にはE S Dの会議支援に格別の御協力をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

このE S Dユネスコ世界会議では、現代の世代が要求を満たしながらも、未来の世代が要求を満たすことができるよう、持続可能な開発のための教育（E S D）の更なる強化と拡大のための緊急行動を求める「あいち・なごや宣言」が採択されました。持続可能な社会の実現に向けては、今後、多様な取組が必要になり、豊かな生命を育み、現代社会を支える健全な水循環の再生の取組も、これまで以上に重要なものとなってまいります。

愛知県といたしましても、伊勢湾や三河湾の水質汚濁の主な原因である生活排水対策を健全な水循環の再生の主要な施策と位置づけているところですが、下水道と同等の水質浄化の機能を持つ浄化槽の果たす役割は極めて大きく、貴協会及び会員の皆様方には、浄化槽の機能を發揮させるための適正な維持管理に向けて御尽力をいただきしております、重ねて感謝を申し上げる次第でございます。

年頭に当たり、本県の水環境行政の推進に、今後とも一層の御支援と御協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げますとともに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成二十七年元旦

# 新年のご挨拶

愛知県衛生事業協同組合

理事長 永田 喜裕



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人愛知県浄化槽協会の皆様方には、健やかに新春をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から当組合の事業の推進に対しまして格別のご協力とご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、愛知県の平成25年度末の汚水処理人口普及率は、87.6%であり約93万人が汚水処理施設を利用できていない状況です。

このような状況の中、昨年1月、国土交通省、農林水産省、環境省は、これまで各省がばらばらに取り組んでいた汚水処理施設の整備に、時間軸を盛り込み地域特性に合った効率的な施設整備を行い、今後10年程度で整備が概ね完了するよう「持続的な汚水処理施設システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」を統一的に取りまとめたところです。また、昨年7月には健全な水循環に関する施策を総合的に実施するため「水循環基本法」が施行されたところです。

コンパクトな大きさでありながら下水道と遜色のない排水処理能力を持ち、経済性、対災害性に優れ、河川の水量維持も可能な浄化槽の設置により、汚水処理未普及地域の解消が図られていくものと考えられます。

浄化槽の機能を100%発揮させるためには、適正な保守点検、清掃、法定検査の実施が欠かせず、適正な維持管理体制の構築がこれから大きな課題の一つになると考えております。

当組合といたしましては、今後も私どもに課せられた社会的使命を強く自覚し、生活排水処理の面でも浄化槽清掃業者の立場から健全な水環境に資する浄化槽の維持管理に努めるとともに、地域住民の信頼に応えるよう、日々まい進していく所存であります。

本年も、貴協会を始め、関係諸官庁、関係団体の更なるご支援とご協力をお願い申し上げるとともに、貴協会の会員各位のご健勝を心より祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成27年 元旦

# 新年のごあいさつ



愛知県浄化槽保全協会

理事長 栗田 道秋

あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎えるにあたり、一般社団法人 愛知県浄化槽協会の皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃は、当協会事業に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我が国経済は、「アベノミックス」といわれる大胆な金融緩和等により円安・株高が進み、景気の動向は、明るい兆しをみせていましたが、近時、一世帯当たりの消費支出は、失速し、低迷していると言われています。

また、東日本大震災による被災地再建等は、未だ道半ばでありますし、加えて、御嶽山の噴火や長野北部震災など身近なところでも自然災害が発生しています。

そんな中にあって、私共には、明るいニュースとして青色発光ダイオードの発明によるノーベル物理学賞の受賞者が本県から輩出され、また、愛知・名古屋の発展に大きな期待が寄せられるリニア中央新幹線の工事実施計画が認可されるなど大きな喜びと明るい希望を得ることもできました。

本県では、昨年、持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議が約150か国の国と地域の参加を得て開催され、「地球保全教育を次世代に」とする「あいち・なごや宣言」が採択され、広く世界に情報発信されました。

我が国経済の改善は、「デフレからの脱却」にあると言われ、弱い消費支出をどう回復させるかが、この鍵を握っているとも言われています。本年こそ、明るい展望がもたらされ、それが確固たるものとなるよう念じてやまないものであります。

ところで、伊勢湾・三河湾の水質汚濁は、とりわけ、生活排水による汚濁の割合が大きいといわれています。幸い、私共は、この生活排水に関わる浄化槽の「保守点検」という維持管理業務の一端を担っていますことから、日頃から技術の研鑽に努め、適正な保守点検業務を行うことにより、健全な水環境・水循環の保全・再生に寄与して参りたいと存じます。

このため、保守点検に係る新技術や効率的・効果的な技術の研修、さらには、安価で良質な物品の提供等に力を入れ、関係行政機関、関係団体、諸先生方のご指導やご支援を頂きながら、更なる協会の発展に努めて参りたいと存じます。

今後とも、関係各位の倍旧のご支援をお願いするとともに、貴協会の益々のご発展と会員各位のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成27年 元旦

# 謹んで新年のお慶びを 申し上げます。

平成二十七年 元旦



一般社団法人 愛知浄化槽協会



会長	加藤銳吉	理事	浅野政司	理事	山野 学
副会長	東 良男	理事	青山公美	理事	西尾 諭
副会長	葛上 篠	理事	杉本由夫	理事	近藤千雅
副会長	関谷俊征	理事	木村雄三	監事	末森俊夫
専務理事	林 和寿	理事	玉越唯郎	監事	小川茂夫
理事	湯浅弘一	理事	吉藤栄二	監事	永野卓司
理事	中島敏仁	理事	安川浩司	協会	職員一同

## ● 協会会議等のこよみ

### 平成26年11月

- 5日 製造販売部会・施工部会等合同研修会  
8~9日 あいち・なごやE S D交流フェスタ出展  
11日 市町村整備推進事業委員会大阪府富田林市視察研修会  
20~21日 浄化槽法指定検査機関東海北陸ブロック協議会研修会及び役員連絡会並びに関東甲信越ブロック協議会交流会  
26日 浄化槽技術研修会  
28日 11月理事会  
· 新入会員の承認について  
· 部会・委員会主催の事業の取組状況について

### 12月

- 2日 指定採水員指定講習会  
8~20日 浄化槽管理士講習  
9日 第2回総務財政企画委員会  
19日 12月理事会  
· 平成26年度中間決算報告書(案)について

# 平成 27 年度浄化槽関連予算概算要求 101 億円

循環型社会形成推進交付金（公共）（浄化槽分）

10,100百万円（8,421百万円）

大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課浄化槽推進室

## 1. 事業の必要性・概要

湖沼等公共用水域等の水質汚濁の大きな原因となっている生活排水対策を推進し、良好な水環境や健全な水循環を確保するため、浄化槽整備に対する国の助成制度の一層の充実・強化を図る。

### ○改正内容

#### （1）低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業の継続事業化

平成 22 年度から 26 年度にかけて実施してきた低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業について、日本における温室効果ガスの削減目標達成のための浄化槽分野における CO<sub>2</sub> 削減対策の促進を図るため、制度を継続事業とする。

#### （2）浄化槽情報基盤整備支援事業の創設

人口分散地域における污水処理施設の早期整備においては、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進することが最も重要である。しかし、地域においては、高度成長期から急速に普及した単独処理浄化槽の設置状況が把握できており、合併処理浄化槽への転換の大きな障害となっている。

このため、浄化槽台帳システムを整備する事業を実施する場合に、その費用の一部について国庫助成を行い、地域における単独処理浄化槽の設置状況の的確な把握により単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進し、さらに維持管理の向上のための指導への活用を推進する。

## 2. 事業計画（業務内容）

市町村が実施する浄化槽の整備に関する事業の実施に要する費用の一部を国庫助成。  
助成率：1／3（一部事業 1／2）、助成先：市町村等

## 3. 施策の効果

浄化槽の整備を推進することにより、湖沼等公共用水域等における生活排水対策が進み、良好な水環境や健全な水循環が確保できる。

## 4. その他

上記の循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備以外に、他府省に別途計上された以下の国庫交付金により浄化槽の整備を推進。

○内閣府計上 地域再生基盤強化交付金（污水処理施設整備交付金）

○復興庁計上 東日本大震災復興交付金（低炭素社会対応型浄化槽集中導入等事業）

# 浄化槽情報基盤整備支援事業

## (公共)～浄化槽台帳システム整備費の一部助成～

### 背景

- 浄化槽の適正な維持管理の確立や災害対応力の強化に向けて、関係者間での効率的かつ正確な浄化槽情報の管理を可能とする浄化槽台帳システムの整備が必要。
- 地域においては、高度成長期から急速に普及した単独処理浄化槽の設置状況の把握が困難。
- 浄化槽台帳システムの普及にあたっては、構築に係る費用及びノウハウの確保が課題。
- 浄化槽台帳システムの定義や導入手順の手引きとして、平成26年3月に「浄化槽台帳システムの整備導入マニュアル」を作成したところ。

(平成27年度要求額：10,100百万円の一部  
(平成26年度予算額：一))

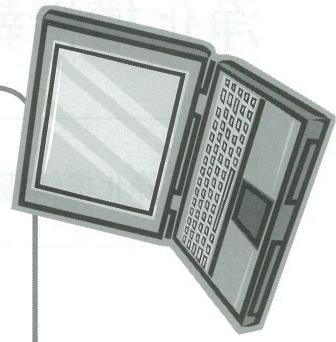
従来の国庫助成制度に、浄化槽台帳システム整備費の一部助成のメニューを追加し、都道府県の浄化槽台帳システムの整備支援を行う

### 助成内容

- 交付対象：都道府県
- 交付要件：「浄化槽台帳システムの整備導入マニュアル」に基づいた事業計画であること
- 交付上限：一都道府県に対して1,000万円(定額)を上限

### 目標

→  
浄化槽の適正な維持管理の確立や  
地域における災害対応力の強化を図る



# 平成 27 年度 浄化槽情報基盤強化推進事業費要求 16 百万円

浄化槽情報基盤強化推進事業

16 百万円（16 百万円）

大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課浄化槽推進室

## 1. 事業の必要性・概要

汚水処理施設の長期間の停止は生活環境の保全及び公衆衛生上避けなければならない事象である。個別分散型の生活排水処理施設で地震に強い特性を持つ浄化槽の整備促進や、早期復旧方法の確立は重要な課題である。

東日本大震災の被災地においては、地理情報システム(GIS)を活用した浄化槽台帳が被災浄化槽の効率的な復旧に役立ったという事例もあり、平時より、浄化槽の設置や維持管理の状況を把握し、管理体制を強化することは、国土の強靭化に資する重要なソフト対策である。

また、浄化槽台帳のシステム化に取り組むことは、災害対策のみならず、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進や法定検査の受検率の向上など浄化槽の信頼性を高める取組の基礎となるものである。このため、本事業では、GIS化を念頭に置いた浄化槽台帳システムの整備を促進し、併せてより効果的な法定検査体制の構築に取組むことで、単独転換を含めた浄化槽の普及促進や適切な維持管理の確保のための管理基盤の強化を図り、浄化槽システムの災害への対応力を強化する。

## 2. 事業計画（業務内容）

- ① 浄化槽台帳システムの整備促進手法の普及活動
- ② より効果的な法定検査体制の構築手法の検討
- ③ 浄化槽の情報基盤強化に関するモデル事業

## 3. 施策の効果

全国における浄化槽台帳のシステム化の推進等、浄化槽の管理基盤の強化を図ることにより、災害への対応力を強化し、下水道や集落排水事業とも連携し、汚水処理全体での更なる強靭化及び信頼性の向上を目指す。

# 浄化槽情報基盤強化推進事業費

～台帳システム整備による浄化槽の管理基盤の強化～

平成27年度要求額：16百万円（平成26年度予算額：16百万円） 支出予定先：民間団体等

## 課題

- ・浄化槽の災害対応及び平時の維持管理の信頼性を確保するため、管理体制の強化が必要
- ・人口減少等の社会情勢を踏まえ、個別分散型処理で災害に強い特性を持つ浄化槽の更なる整備が必要

## GISを活用した台帳システム整備の効果

- | 災害時  | 平常時   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・被害状況を迅速かつ正確に把握できる</li><li>・浄化槽の被災状況を視覚情報として共有できる</li></ul> <p>⇒被災浄化槽の早期復旧等に貢献する</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・設置状況を視覚的かつ正確に把握できる</li><li>⇒維持管理体制の適正化が図られる</li><li>⇒浄化槽の普及促進や単独転換施策に役立つ</li></ul> |

## ＜事業内容＞

- ① 浄化槽台帳システムの整備促進手法の普及活動
- ② より効果的な法定検査体制の構築手法の検討
- ③ 浄化槽の情報基盤強化に関するモデル事業

全国における浄化槽台帳のシステム化の推進等、浄化槽の管理基盤の強化を図ることにより、災害への対応力を強化し、下水道や集落排水事業とも連携し、汚水処理全体会での更なる強靭化及び信頼性の向上を目指す

## 愛知県内 新設住宅着工統計

区分	平成26年4~9月分			平成25年4~9月分
	戸数	前年同期増減(△)比	構成比	戸数
新設住宅計	戸数 27,758	% △ 14.2	% -	戸数 32,347
利用関係別	持家	9,679	△ 21.6	34.9 12,352
	貸家	9,662	△ 9.8	34.8 10,716
	給与住宅	119	91.9	0.4 62
	分譲住宅	8,298	△ 10.0	29.9 9,217
資金別	民間資金	23,602	△ 13.0	85.0 27,123
	公的資金	4,156	△ 20.4	15.0 5,224
	公営住宅	78	△ 71.3	0.3 272
	機構融資	1,519	△ 25.8	5.5 2,046
	都市機構	170	49.1	0.6 114
	その他	2,389	△ 14.4	8.6 2,792
建て方別	合計	一戸建・長屋建	△ 16.1	64.9 21,459
		共同建	△ 10.4	35.1 10,888
	貸家	一戸建・長屋建	△ 4.5	11.3 3,297
		共同建	△ 12.2	23.5 7,419
	分譲住宅	一戸建・長屋建	△ 10.8	18.6 5,788
		共同建	△ 8.5	11.3 3,429
構造別	木造	16,020	△ 14.5	57.7 18,729
	非木造	11,738	△ 13.8	42.3 13,618
	鉄骨・鉄筋コンクリート造	213	70.4	0.8 125
	鉄筋コンクリート造	5,985	△ 16.4	21.6 7,159
	鉄骨造	5,519	△ 12.2	19.9 6,283
	コンクリートブロック造	0	-	0.0 3
	その他	21	△ 56.3	0.1 48
プレハブ住宅	戸数 5,043	% △ 15.7	% 18.2	戸数 5,980

## 平成25年度末 済水槽設置基数一覧表

(平成25年3月末現在)					
所管	市町村	単独	合併	計	
東三河	豊川市	10,627	5,369	15,996	
	蒲郡市	2,133	1,678	3,811	
	田原市	3,833	912	4,745	
	計	16,593	7,959	24,552	
新城設楽新城市		5,369	3,432	8,801	
	設楽町	758	465	1,223	
	東栄町	268	228	496	
	豊根村	157	314	471	
	計	6,552	4,439	10,991	
尾張	一宮市	33,316	15,749	49,065	
	瀬戸市	15,391	4,688	20,079	
	春日井市	21,457	9,104	30,561	
	犬山市	5,027	2,056	7,083	
	江南市	11,382	6,495	17,877	
	小牧市	11,305	3,436	14,741	
	稻沢市	14,983	6,528	21,511	
	尾張旭市	8,836	2,548	11,384	
	岩倉市	4,287	1,482	5,769	
	豊明市	1,974	949	2,923	
	日進市	3,410	2,795	6,205	
	清須市	9,117	5,480	14,597	
	北名古屋市	10,381	6,006	16,387	
	長久手市	2,733	787	3,520	
	東郷町	3,319	962	4,281	
海部	豊山町	1,825	1,005	2,830	
	大口町	1,576	626	2,202	
	扶桑町	3,764	2,398	6,162	
	計	164,083	73,094	237,177	
愛知県	津島市	9,186	3,996	13,182	
	愛西市	7,576	3,717	11,293	
	弥富市	6,513	2,906	9,419	
	あま市	14,250	6,447	20,697	
	大治町	4,244	2,276	6,520	
	蟹江町	3,636	1,968	5,604	
	飛島村	618	352	970	
	計	46,023	21,662	67,685	
所管分					
保健所					
設置市					
県内総合計					

名古屋市	6,525	1,863	8,388
豊橋市	18,311	10,901	29,212
岡崎市	11,835	6,606	18,441
豊田市	24,845	17,640	42,485
計	61,516	37,010	98,526

406,842	182,079	588,921
(69.1%)	(30.9%)	

# 平成25年度 済化槽新設基數一覧表

所管		市町村名	設置基數
東三河	豊川市	201	
	蒲郡市	134	
	田原市	19	
	計	354	
新城設楽	新城市	135	
	設楽町	35	
	東栄町	7	
	豊根村	11	
	計	188	
尾張	一宮市	735	
	瀬戸市	298	
	春日井市	533	
	犬山市	101	
	江南市	472	
	小牧市	188	
	稻沢市	527	
	尾張旭市	243	
	岩倉市	132	
	豊明市	50	
	日進市	212	
	清須市	334	
	北名古屋市	370	
	長久手市	24	
海部	東郷町	92	
	豊山町	66	
	大口町	27	
	扶桑町	160	
	計	4,564	
	津島市	140	
	愛西市	146	
豊田加茂	弥富市	152	
	あま市	452	
	大治町	219	
	蟹江町	113	
	飛島村	23	
	計	1,245	

(平成26年3月末現在)			
所管	市町村名	設置基數	
知多	半田市	53	
	常滑市	99	
	東海市	163	
	大府市	80	
	知多市	21	
	阿久比町	27	
	東浦町	39	
	南知多町	46	
	美浜町	76	
	武豊町	44	
	計	648	
西三河	碧南市	150	
	刈谷市	105	
	安城市	378	
	西尾市	160	
	知立市	247	
	高浜市	145	
	幸田町	3	
	計	1,188	
豊田加茂	みよし市	9	
	計	9	
愛知県所管	合計	8,196	

保健所	名古屋市	115
設置市	豊橋市	463
	岡崎市	224
	豊田市	697
	計	1,499

県内総合計	9,695	(8,679)
-------	-------	---------

\* () 内は平成24年度の値

## 第66回愛知県表彰式 表彰

### 東 良 男 氏

平成26年11月19日に開催された第66回愛知県表彰式において  
愛知県浄化槽協会 副会長（株式会社クリンテック 顧問）の  
東 良男氏が、環境功労者として表彰されました。

誠におめでとうございます。

### ●新入会員のご紹介

#### 施工部会

**株式会社 エスケーシー**  
**代表取締役 有松 賢司**

〒473-0916 豊田市吉原町鶴喰70-3  
TEL 0565-54-1746 FAX 0565-54-0360

# 「製造販売部会・施工部会等合同研修会」開催

視察研修先…中部国際空港セントレア

- ・関係者しか立ち入る事のできない滑走路エリアの見学研修
- ・先進的な環境への取組箇所見学研修

「製造販売部会・施工部会等合同研修会」を、11月5日(水)に開催しました。

研修会は会員企業の21名参加のもと中部国際空港(セントレア)の環境対応関連施設等の見学研修を行ないました。国際線搭乗と同じ厳重な持ち物・身体チェックを受け、空港側は3名の担当が、



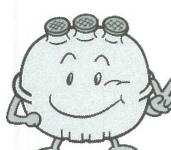
現場研修の様子



研修の様子

バスに同乗し、厳しい行動制限のもとではありましたが、軽妙な説明紹介で分かりやすく見学することができました。

同空港は環境負荷の低減や循環型社会の形成を最優先課題として様々な取組が行われており、参加者自らの眼で確かめられたと思います。



中部国際空港(セントレア)の環境対応取組の一部をご紹介します。

## ■地域冷暖房システム

- ・天然ガスから電気と熱を取り出すシステムによる地域冷暖房を採用

### ■ 海水利用設備

- ・海水利用設備 エネルギー供給プラントで温まった冷却水を海水で冷やして、再び冷却水としてプラント設備に戻し再利用

### ■ 給油システム

- ・地下埋設管で航空機燃料を届ける給油方法により、給油タンク車の燃料及び走行による排気ガスを削減

### ■ G P U (地上動力装置) の利用促進

- ・空港施設から駐機中の航空機へ電気や冷暖房を供給する装置で、排気ガスや騒音を大きく低減

### ■ 太陽光発電システム

- ・太陽光発電パネル 1,440 枚設置し発電
- ・省エネ効果は年間原油 ドラム缶 25 本分(2012 年度)

### ■ 自然採光

- ・ガラス面を多くし、天井や側面からの自然採光をふんだんに採用

### ■ 昼光センサー

- ・館内の明るさをセンサーにより常に計測し、適正な照度に制御するシステムを採用

### ■ 光触媒ガラス

- ・壁面ガラスの一部に光触媒をコーティングした防汚加工したガラスを使用し、洗浄回数の削減による節水

### ■ 低公害車の普及促進

- ・各種の燃料充てん施設の設置や低公害車利用者の駐車料金の割引

### ■ 廃棄物のリサイクル

- ・空港島内にリサイクルセンターを設置し、廃棄物の資源化、有効化

### ■ 水資源の有効活用

- ・厨房排水を浄化し、中水としてトイレ洗浄に再利用

### ■ 海水の流れに配慮した空港島の位置と形

- ・空港島と対岸部の最小海域幅を約 1.1km 確保することにより、常滑沖の南下流を妨げない
- ・空港島の形状に曲線を取り入れ、流速低下範囲・停滞渓の発生を縮小
- ・空港島の隅角部を曲線とすることにより、渦の発生抑制

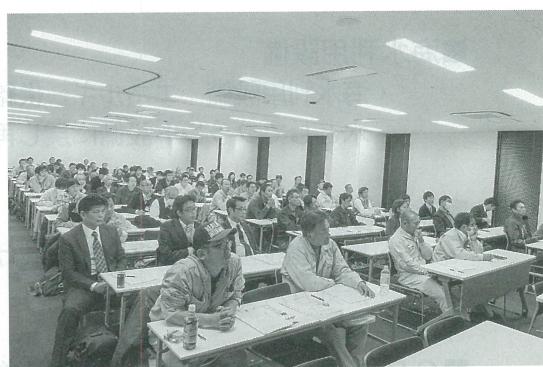
### ■ 空港島の護岸に藻場を造成

- ・様々な生物が集まりやすくするために、自然石等を用いて傾斜をつけた護岸を築造
- ・多年生の海藻を移植して藻場を造成

## 「浄化槽技術研修会」開催

11月26日(水)に浄化槽技術研修会を、開催しました。

当日は協会会員や市町村職員等、合計106名の出席をいただき、参加された方々から今後の業務に大変役に立つ講演でしたとの評価をいただきました。



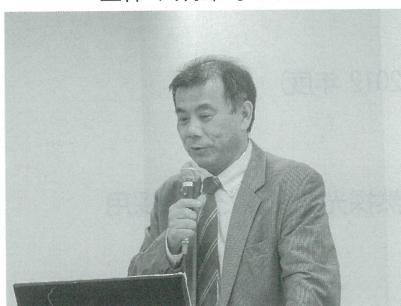
会場の様子

### ◆講演内容及び講師

#### (1) 愛知県の浄化槽行政について

愛知県環境部水地盤環境課

主幹 川村雄司 氏



#### (2) 浄化槽のトラブル事例と対応策について

公益財団法人日本環境整備教育センター

調査・研究グループ 調査役 久川和彦 氏



## 「大阪府富田林市浄化槽整備推進事業視察研修会」開催

市町村整備推進事業委員会は、愛知県合併処理浄化槽普及促進協議会と合同で11月11日(火)に、PFI手法を導入した、市町村設置型による浄化槽整備を行っている大阪府富田林市に視察研修を行いました。



研修の様子

当日は愛知県及び市町村職員等34名の参加で、富田林市の職員からPFI手法を導入した市町村設置型による浄化槽整備の説明を受け、質疑応答を行い終了しました。

愛知県内では、市町村設置型による浄化槽整備が未だありません。  
ぜひ、これを機会に事業を勧めて頂くことを期待しています。



富田林市 浅野理事による説明



研修の様子



## 「あいち・なごや ESD 交流フェスタ」に、出展

ESD（持続可能な開発のための教育）とは、環境、貧困、人権、平和、開発といった、現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それにより持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のことです。

当協会も11月8日(土)、9日(日)の両日、栄会場(久屋広場)で開催されたESDユネスコ世界会議併催イベントの「あいち・なごや ESD交流フェスタ」に出展しました。

当日は小型合併処理浄化槽の模型、パネルを展示し、来場者へ浄化槽が水環境の保全に寄与していることを説明しました。

また、ポケットティッシュ等の普及啓発資料を配布して、浄化槽をお使いの来場者には、保守点検、清掃、法定検査の必要性を説明し、併せて合併処理浄化槽への転換を啓発しました。



展示ブースの様子



来場者の対応状況



●発行 一般社団法人 愛知県浄化槽協会

- |         |  |
|---------|--|
| ・事務局    | 〒453-0017 名古屋市中村区則武本通1-31<br>TEL〈052〉481-7200 FAX〈052〉481-7207 |
| ・法定検査部  |  |
| 名古屋業務所  | 〒453-0017 名古屋市中村区則武本通1-31<br>TEL〈052〉481-7160 FAX〈052〉481-7163 |
| 豊田業務所   | 〒471-0064 豊田市梅坪町9-5-10<br>TEL〈0565〉37-3360 FAX〈0565〉37-3361    |
| 春日井業務所  | 〒487-0024 春日井市大留町2-2-18<br>TEL〈0568〉53-3721 FAX〈0568〉53-3722   |
| 名古屋西業務所 | 〒452-0911 清須市西須ヶ口32-1<br>TEL〈052〉618-6351 FAX〈052〉618-6352     |